



2004・春号
発行：法問寺
題字：鈴木裕子

こうみょう 発刊にあたり

住職 鈴木智祐

法問寺第二十二世住職を拜命して一年がたちました。そこで檀信徒の皆様へのお知らせを考え、寺報「こうみょう」を発刊いたします。

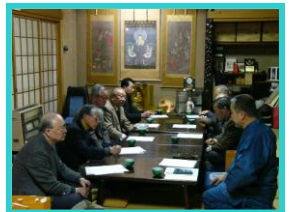


字の「こうみょう（光明）」は、お経の一節に「光明遍照」とあり、その意味は（ひかり明るくすべてにあまねく照らす）とあります。まさに、阿弥陀様の無量、廣大、無辺なる力をあらわしておられます。又お寺には山号、院号、寺号があり当山は無量山・光明院・法問寺というのが正式な呼びかたになります。その「こうみょう」を題にしました。

総代・世話人新年互礼会の報告

去る、一月十八日

に法問寺客殿に於いて、法問寺総代・世話人として協力していただける方々を委嘱させていただきました。



総代としては「小川東吾様・清田増雄様・小澤竹夫様・佐藤律三様」の四名の方々、世話人としては「島田裕司様・上原實様・上原満幸様・田嶋新蔵様・高野隆雄様・成澤裕喜男様・上原哲夫様」の七名の方々にご協力をお願いいたしました。これからは寺の行事等でもお手伝いいただくようになるとおもいますのでどうぞよろしくお願いいたします。



本堂にて記念撮影
前列左より 総代 小川東吾氏
清田増雄氏・小澤竹夫氏
後列左より 世話人 田嶋新蔵氏・上原實氏・高野隆雄氏
島田裕司氏
成澤裕喜男氏
欠席は 佐藤律三氏・上原満幸氏・上原哲夫氏

そのあと簡単な自己紹介をし、和やかな新年互礼会を行なうことが出来ました。

法問寺に咲く花 花だより

二月の早春頃から、枝垂れ梅・紅梅・杏と順次咲き始め、桜（熱海桜）・桃・枝垂れ桃・梨・桜（御殿場桜）と本数は少ないですが花木が咲きます。又、その後には牡丹、バラの鉢植えがたくさんの花をつけてくれます。これからは季節の花だよりをお届けします。



日本桜草：天晴（あっぱれ）



紅桃

法問寺の子庭

○永代供養の共同墓建立

昨今、跡継ぎがない、個人の墓が欲しいが後の墓を管理する者がいないなどお墓に関する悩みを多く聞くようになりました。そのような方々に対する共同のお墓を計画しております。詳細は順次お知らせいたします。

○写経会の定期的な開催を予定しております。



百萬遍数珠供養のお勧め



京都大本山百萬遍知恩寺本堂御影堂内に掲げる大念珠の一珠一珠にご先祖（ご先亡）の法名を刻印して奉納されることになりました。檀信徒の皆様方ご縁の先亡の法名を刻印し百萬遍念仏とともに大本山知恩寺の法要に際しこれを繰って永くご回向されるものです。この得がたい機会に皆様方のご先祖、先立たれた親しい方々を百萬遍知恩寺大念珠にご結縁いただきますようお願い申し上げます。刻印奉納をご希望の方はお問い合わせ下さい。

▽編集後記 住職

こうみょう第一号として春のお彼岸にあわせて発刊予定をしておりましたところ、彼岸案内にもお知らせしました通り右アキレス腱を断裂してしまい発刊がおくれました。ケガの方は順調に回復しておりますので寺務に支障は無いと思います。ご心配をおかけいたしました申し訳ございません。尚、この「こうみょう」はお寺からの一方通行でなく、皆さんのご意見も反映したいと思っております。